薄手半磁器入門！

半磁器土（ここでは赤津貫入土）を使って、上品な薄手の小物の器を作ってみましょう。イメージは、中国茶をいただく時に使う湯呑です。

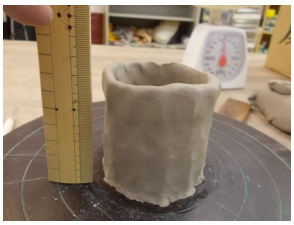
半磁器を使って上品に作るには
①丁寧に作る（手を抜かない）
②水とスポンジは最低限しか使わない
③ろくろは回して使う
④やたら薄くしない（削りで薄くする）
⑤切り離しは、数回切ってから
さあ、やってみるべ。

サンプルのサイズならば、ひとつ250g程度必要です。ちょっと心配なら270gで作りましょう。大きめは300gです。玉つくりになります。

①

基本は湯呑とまったく同じ。１．５周で据え付けて、底は1センチ。ちょうどコテの幅分だけ底を仕上げます。
広げすぎてはいけないよ。

②



丁寧に、底の立ち上がりからキョンシーで上に伸ばします。250gなら6cm、270gなら6.5cm程度、

③

内側、外側を丁寧にコテがけします。
底部分が、はみ出ていたりしたら、削ってしまって、ちゃんとした円にしましょう。

④

ここで、内側外側スポンジ使い、大体の形にします。あとは口を切って、なめし。
以降はスポンジでなく、手を使おう！
写真はブレをとっているところ。

⑤

内側も外側も、ろくろを回してから、コテと指で壁を軽く挟みながら整形します。
これで仕上げだからね。微妙な力加減。